

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

女子 1回戦

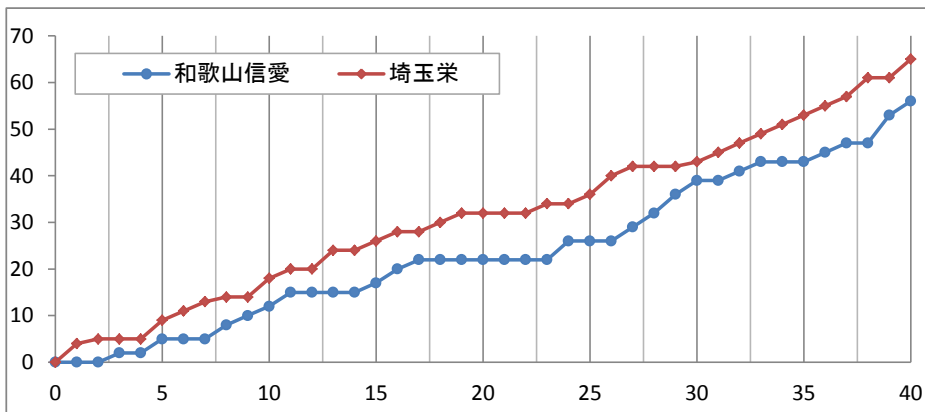
主審 古畑 香子
副審 松田 英樹

和歌山信愛 56 (和歌山) ●

12	—	18
10	—	14
17	—	11
17	—	22
—	—	—

65 埼玉栄 ○ (埼玉)

No. 29g1 日時: 2013年7月29日(月) 9:30 会場: ダイハツ九州アリーナ



和歌山信愛

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	吾妻 果歩	0	0	0	0	1
5	* 森川 亜衣 (C)	10	0	5	0	2
6	吉田 理良	0	0	0	0	0
7	* 辻川 光希	8	0	3	2	1
8	入口 鈴	—	—	—	—	—
9	* 藤 朋美	23	7	1	0	4
10	古久保 木菜美	0	0	0	0	0
11	小松 由理子	2	0	1	0	0
12	小森 瑠香	0	0	0	0	0
13	* 古金谷 郁美	11	2	2	1	2
14	上野 麻矢	—	—	—	—	—
15	* 宮原 有紗	2	0	1	0	1
コーチ 宮本 浩次		—	—	—	—	—
合計		56	9	13	3	11

埼玉栄

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	串田 愛美	0	0	0	0	1
5	* 大迫 実桜 (C)	11	0	5	1	2
6	* 大畑 理佐子	2	0	1	0	2
7	* 今村 ひかり	8	0	2	4	3
8	* ナウタヴァイ絵美理	18	0	7	4	2
9	田島 菜月	0	0	0	0	0
10	* 藤野 希生	16	0	8	0	2
11	新井 李音乃	2	0	1	0	1
12	植村 莉子	2	0	1	0	1
13	柿沼 あゆみ	0	0	0	0	0
14	古川 夢子	6	0	3	0	1
15	渡邊 あゆみ	0	0	0	0	0
コーチ 一ノ瀬 和之		—	—	—	—	—
合計		65	0	28	9	15

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

第1ピリオド両チームマンツーマンスタート。埼玉栄のトランジションに対して、和歌山信愛はアウトサイドシュートで対抗。埼玉栄#5,#8のインサイドの攻めで13-5となる。硬さの目立つシュートミスが続く信愛は#9の3pで追いつくも点差は広がり、ベンチはたまたまタイムアウト。タイムアウト後、緊張がほぐれた信愛は#9,#7のシュートが決まり粘りを見せ、埼玉栄6点リードとする。第2ピリオド#11の絶妙なアシストから#14へのパス、信愛#9のこの試合3本目の3pで追い上げるが、埼玉栄の#10のミドルシュートで点差が徐々に広がり、11点差となる。信愛ベンチはたまたまポイントガード#9から#14に替え打開を図る。信愛#13の3pで点差を6点とするが、埼玉栄のトランジションに遅れが始めタイムアウト、再び#9を投入。両チーム選手交代を行い、局面の打開を図るがリズムに乗れないまま埼玉栄10点リードでハーフを迎える。

第3ピリオド両チームメンバー変更なしのスタート。両チーム厳しいディフェンスにターンオーバーが続き、重苦しい展開となるが、残り4分から埼玉栄は#8,#10,#5リング下を制しはじめ16点差がつく。一方信愛は#7,#9のペネトレイトシュートで応戦するもミスが重なり中々得点ができない。残り2分、信愛は打開策としてゾーンディフェンスに切り替え埼玉栄のミスに乗じて点差を詰め、#9のこの試合4本目の3pシュートで一気に4点差にする。第4ピリオド#11を投入。ゾーンブレイクから#10の連続シュートで8点差とし試合の主導権を握る。ここで信愛ベンチはタイムアウトを請求、ディフェンスをチェンジしながら、最後の反撃を試みるが、思うようにシュートが入らず逆に埼玉栄#10,#8のリング下を制した得点で、残り2分で12点のリードを奪う。焦りの出た信愛の攻撃が単調となり、ミスが重なるも信愛は力を振り絞りオールコートプレスを試み#9の連続3pで必死追いつけるも終始試合を優位に進めた埼玉栄が勝利した。

| 記者 | 三ツ廣 荘規 (所属) 大分県バスケットボール協会